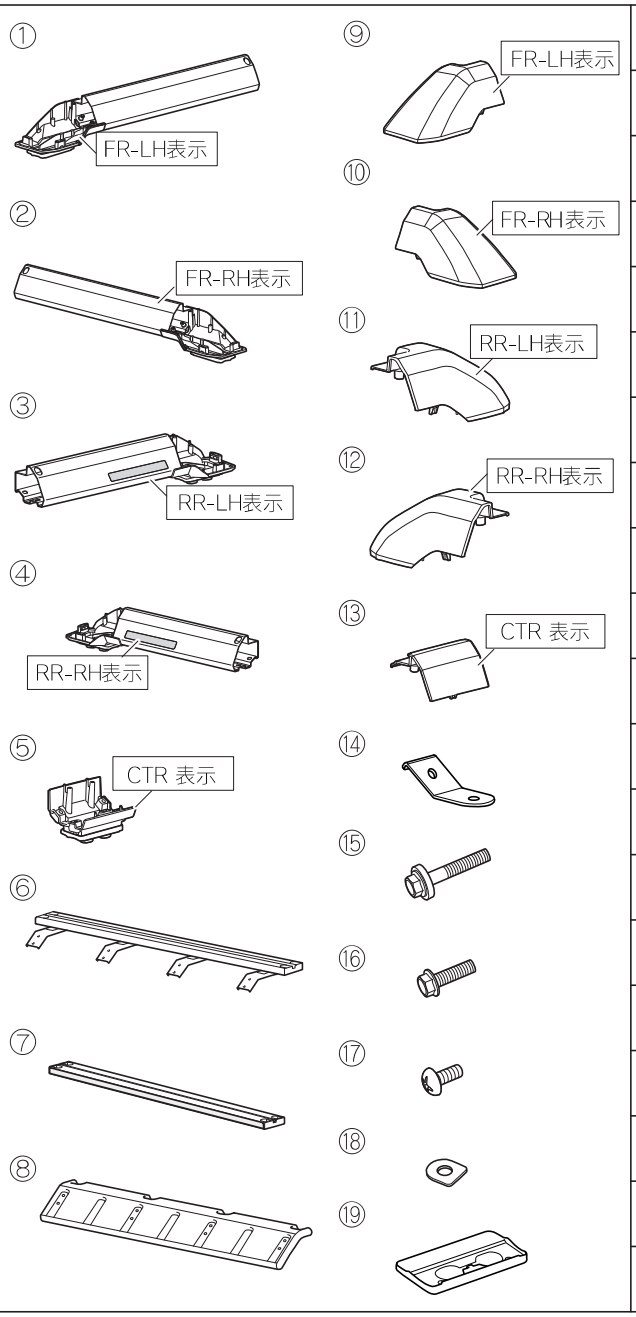
ルーフラック　　取付要領書

このたびは、レクサス純正 「ルーフラック」 をお買い上げいただきありがとうございます。
本書は「ルーフラック」の取り付け要領について記載してあります。
取り付け前に必ずお読みいただき、正しい取り付けを行ってください。

品　　番

08256-60500

構成部品



No.	品　名	個数
①	フロントサイドフレーム Assy（L 側）	1
②	フロントサイドフレーム Assy（R 側）	1
③	リヤサイドフレーム Assy（L 側）	1
④	リヤサイドフレーム Assy（R 側）	1
⑤	センター脚（R/L 共通）	2
⑥	クロスバー（1 本目）	1
⑦	クロスバー（2 ～ 5 本目）	4
⑧	スポイラー	1
⑨	フロント脚カバー（L 側）	1
⑩	フロント脚カバー（R 側）	1
⑪	リヤ脚カバー（L 側）	1
⑫	リヤ脚カバー（R 側）	1
⑬	センター脚カバー（R/L 共通）	2
⑭	フレーム座金	4
⑮	車両取り付けボルト（M8×49）	12
⑯	組付け用ボルト（M8×25）	28
⑰	脚カバー/スポイラー取り付け用ボルト(M6×12)	20
⑱	クロスバー座金	20
⑲	クッションベース	6

TTC-0257-B

トヨタ自動車株式会社

補給部品

品　番	品　名	構　成　部　品	個数
08301 - 60501	BAR, ROOF RACK	⑥ クロスバー（１本目）	1
08301 - 60502	BAR, ROOF RACK	⑦ クロスバー（２～５本目）	1
08308 - 60180	BOLT & NUT SET	⑮ 車両取り付けボルト（M8×49）	12
		⑯ 組付け用ボルト（M8×25）	28
		⑰ 脚カバー / スポイラー取り付け用ボルト（M6×12）	20
		⑱ クロスバー座金	20

取り付けに必要な工具等

・一般工具、メジャー、作業マット、脚立、マスキングテープ、トルクレンチ、
脱脂剤等【イソプロピルアルコール（IPA）純度１００％推奨】、ウエス

取り付け上の注意事項

この取扱書では安全にご使用いただくため、特にお守りいただきたいことを次のマークで表示しています。

⚠ 警 告 ・・・ 警告事項を守らないと生命の危険、または重大な傷害につながる恐れがあることを記載しています。

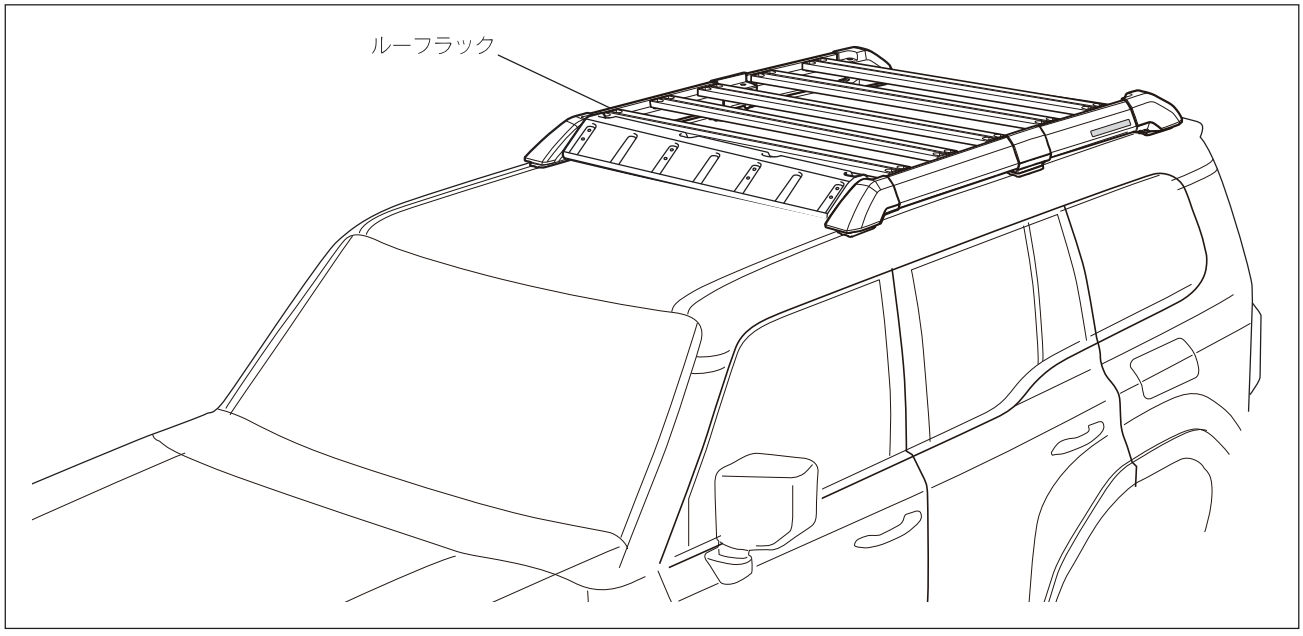
⚠ 注 意 ・・・ 注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたりする等の恐れがあることを記載しています。

アドバイス ・・・ スピーディーに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

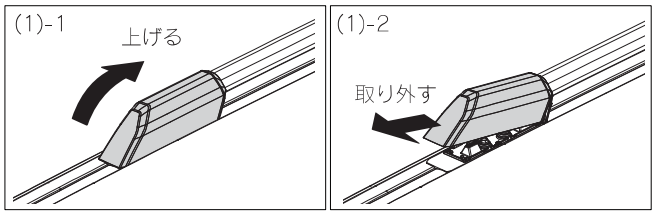
1.この取付要領書に記載されていない取り付け、および使用方法は絶対に行わないでください。

2.記載事項を守らなかった為に発生した不具合につきましては、責任を負いかねる場合がありますので、
あらかじめご了承ください。

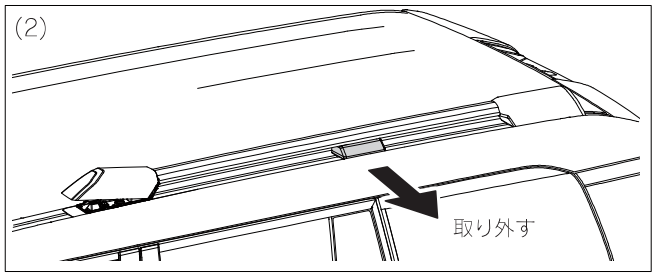
取り付け概要



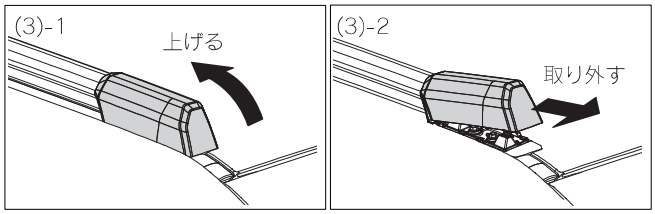
標準ルーフレールの外し方　　ー ブリッジタイプ (タイプA) ー



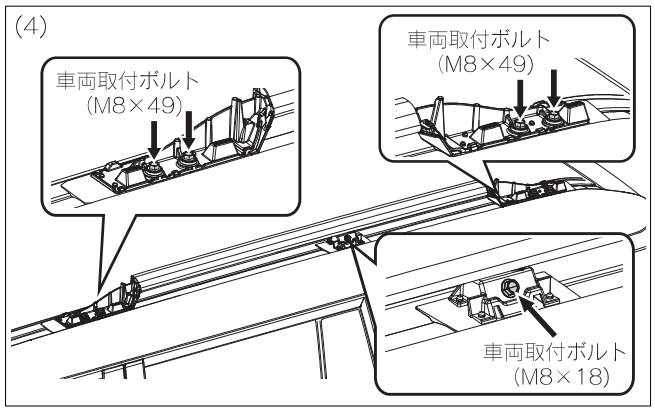
(1) ルーフレール レッグカバーFR LH 取り外し



(2) ルーフレール レッグカバーCTR LH 取り外し

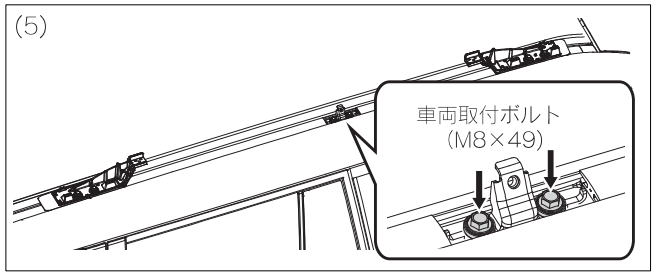


(3) ルーフレール レッグカバーRR LH 取り外し



(4) ルーフレール ASSY LH 取り外し

車両取付ボルト（M8×49, M8×18）を取り外す。

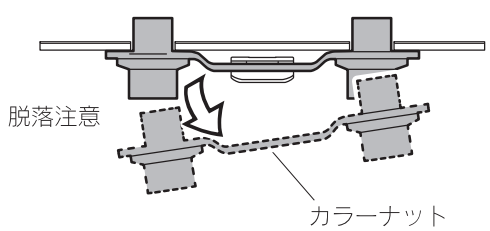


(5) ルーフドリップサイドフィニッシュ
モールディングリテーナNo.2 取り外し

車両取付ボルト（M8×49）を取り外す。

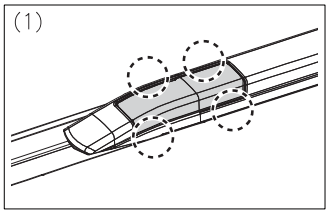
⚠ 注　意

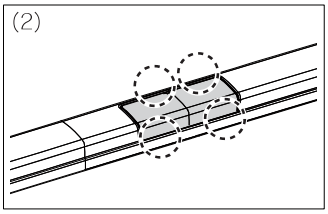
断面図

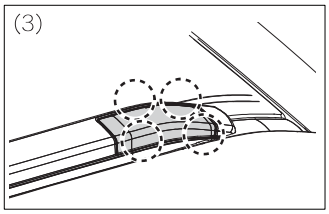


- M8 ボルトとルーフレールを取りはずす際は、車両下方向に力がかからない様に作業してください。もし、要領に従わなかった場合は、カラーナットが脱落する恐れがあります。
- ルーフラックを取りはずして元に復元する際は、M8 ボルト（90119-08C47）を発注いただき、新しいものを使用するようにしてください。お守りいただけないとボルトのトルクが緩む恐れがあり、ブラケットスポンジと車両取付面の密着性が低下し締結穴から水が入ってしまう恐れがあります。
- 取り外したルーフレールは大切に保管しておいてください。復元時に必要になります。

標準ルーフレールの外し方　　ー ソリッドタイプ (タイプB) ー



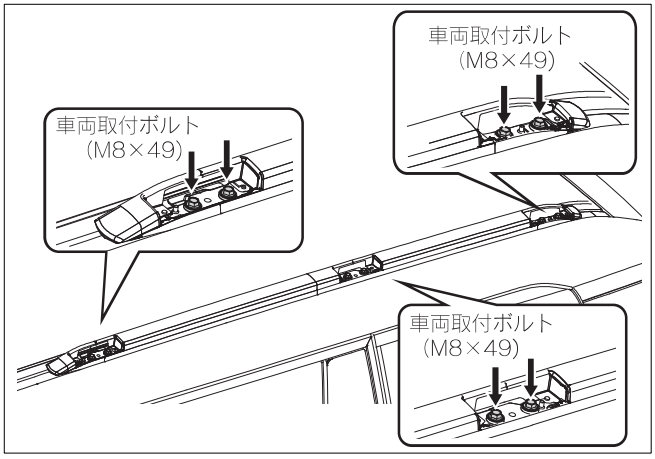




(1) ルーフサイドガーニッシュリッド No.1 LHを取り外し

(2) ルーフサイドガーニッシュリッド No.2 LHを取り外し

(3) ルーフサイドガーニッシュリッド No.3 LHを取り外し

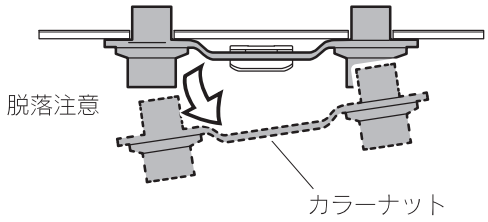


(4) ルーフサイドレールガーニッシュリッド SUB-ASSY を取り外し

車両取付ボルト（M8×49）を取り外す。

⚠ 注　意

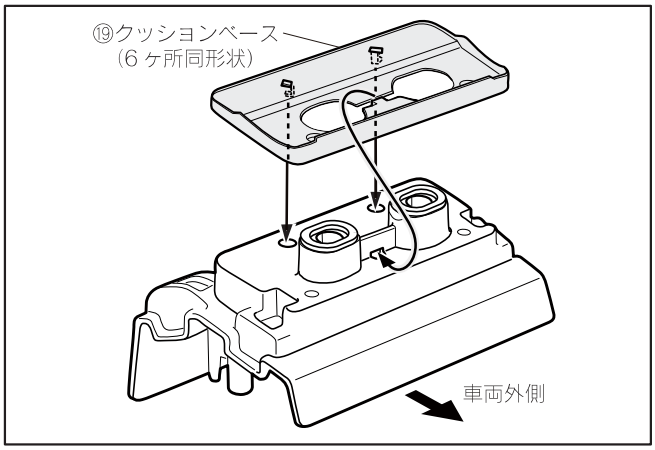
断面図



- M8 ボルトとルーフレールを取りはずす際は、車両下方向に力がかからない様に作業してください。もし、要領に従わなかった場合は、カラーナットが脱落する恐れがあります。
- ルーフラックを取りはずして元に復元する際は、M8 ボルト（90119-08C47）を発注いただき、新しいものを使用するようにしてください。お守りいただけないとボルトのトルクが緩む恐れがあり、ブラケットスポンジと車両取付面の密着性が低下し締結穴から水が入ってしまう恐れがあります。
- 取り外したルーフレールは大切に保管しておいてください。復元時に必要になります。

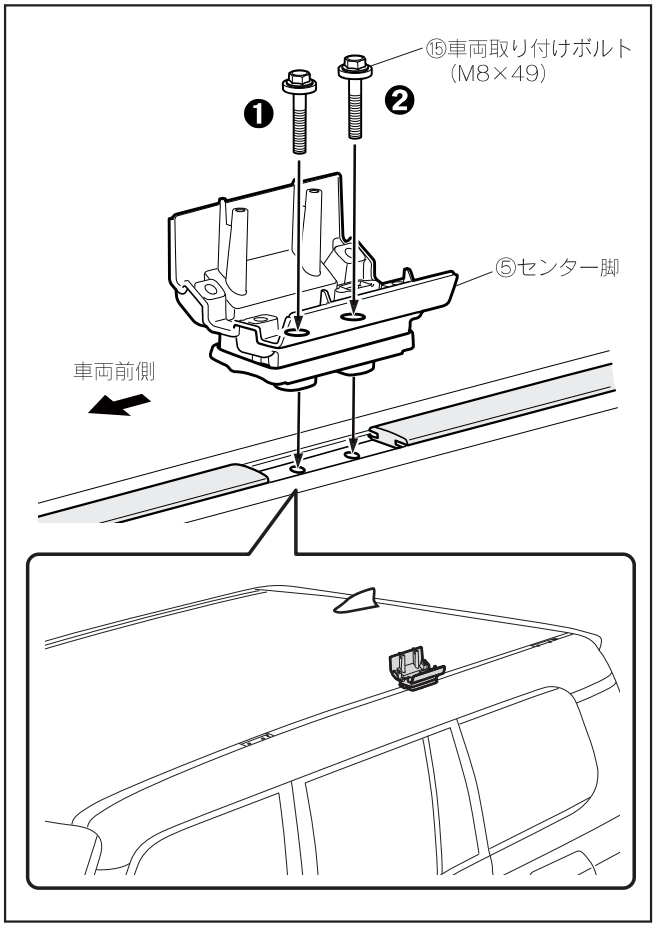
取り付け要領

※1～9の取付説明は、L側（助手席側）の工程で行っています。



1. クッションベースの取り付け

(1) 各脚部（左右各 3 ヶ所）へ左図を参考に、
⑲クッションベースを取り付ける。
（左図イラストは⑤センター脚で説明）



2. センター脚の取り付け

(1) ⑤センター脚を車両ルーフに載せる。

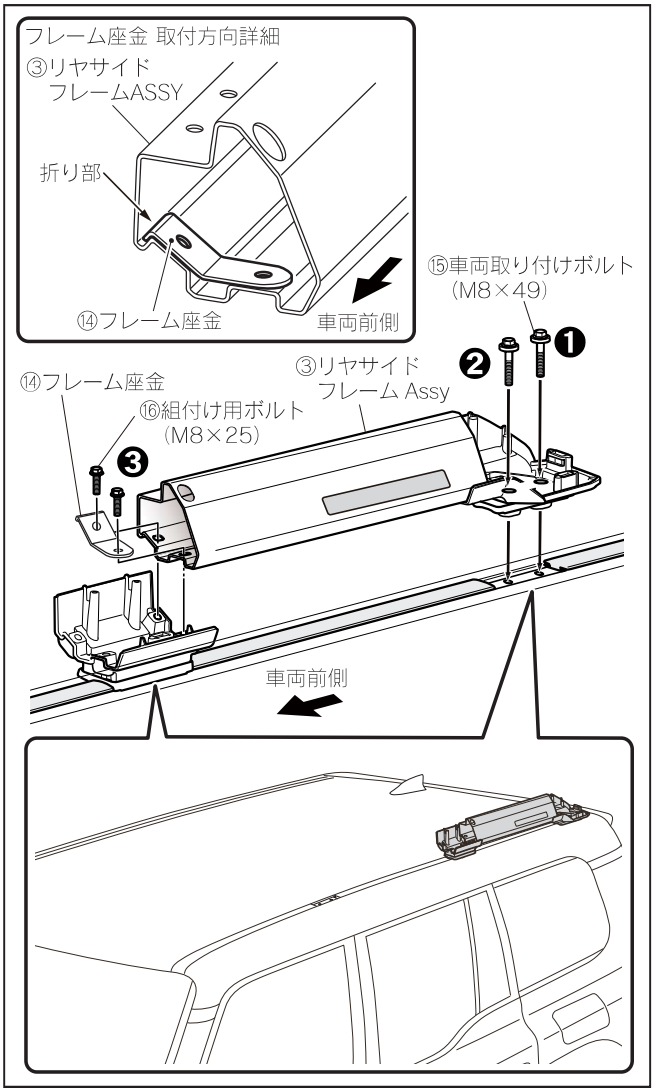
(2) 車両穴位置と脚部の穴を合わせ、❶～❷手順で
⑮車両取り付けボルト（M8 × 49）を仮止めする。

❶ 脚部前側の穴部に、⑮車両取り付けボルト（M8×49）を差し込み、グラ付かない程度に締め付ける。

❷ 脚部後側の穴部に、⑮車両取り付けボルト（M8×49）を差し込み、グラ付かない程度に締め付ける。

⚠ 注 意

仮止めの際、クッションベースが脚部に確実にはまっている事を確認してください。
M8ボルトは再利用不可部品です。復元の際は新しいものを発注頂き使用するようにしてください。
お守り頂けないと、ボルトのトルクが緩む恐れがあります。



3. リヤサイドフレームの取り付け

(1) ③リヤサイドフレームAssyのフレーム側を車両に取り付けた⑤センター脚に載せ、リヤ脚の穴と車両穴位置の穴を合わせ、❶～❸の手順で⑮車両取り付けボルト（M8×49）と⑯組付け用ボルト（M8 × 25）で仮止めする。

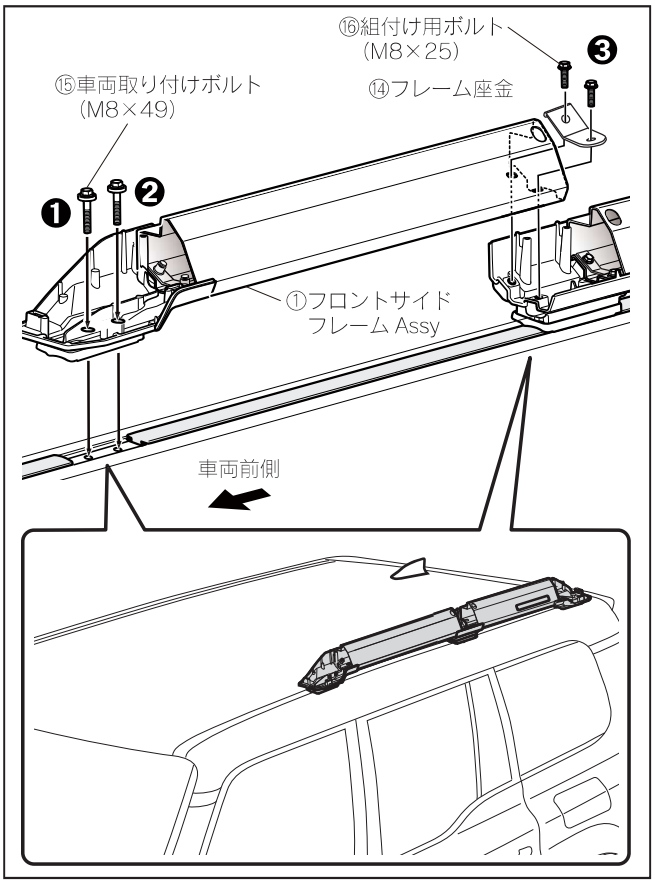
❶脚部後側の穴部に⑮車両取り付けボルト（M8 × 49）を差し込み、グラ付かない程度に締め付ける。

❷脚部前側の穴部に⑮車両取り付けボルト（M8 × 49）を差し込み、グラ付かない程度に締め付ける。

❸③リヤサイドフレーム Assy 前部の長穴と⑤センター脚の穴位置を合わせ、⑭フレーム座金を載せ⑯組付け用ボルト（M8 × 25）でグラ付かない程度に締め付ける。

⚠ 注 意

仮止めの際、クッションベースが脚部に確実にはまっている事を確認してください。
M8 ボルトは再利用不可部品です。復元の際は新しいものを発注頂き使用するようにしてください。お守り頂けないと、ボルトのトルクが緩む恐れがあります。



4. フロントサイドフレームの取り付け

(1) ①フロントサイドフレームAssyのフレーム側を車両に取り付けた⑤センター脚に載せ、フロント脚と穴と車両穴位置の穴を合わせ、❶～❸の手順で⑮車両取り付けボルト（M8×49）と⑯組付け用ボルト（M8×25）で仮止めする。

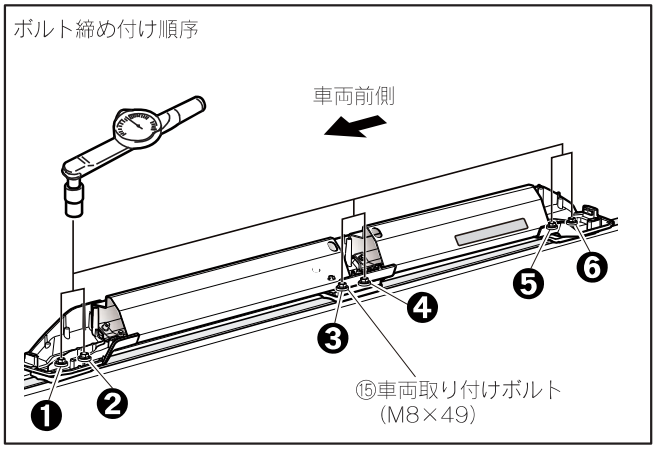
❶脚部前側の穴部に⑮車両取り付けボルト（M8 × 49）を差し込み、グラ付かない程度に締め付ける。

❷脚部後側の穴部に⑮車両取り付けボルト（M8 × 49）を差し込み、グラ付かない程度に締め付ける。

❸①フロントサイドフレーム Assy 後部の長穴と⑤センター脚の穴位置を合わせ、⑭フレーム座金を載せ⑯組付け用ボルト（M8 × 25）でグラ付かない程度に締め付ける。

⚠ 注 意

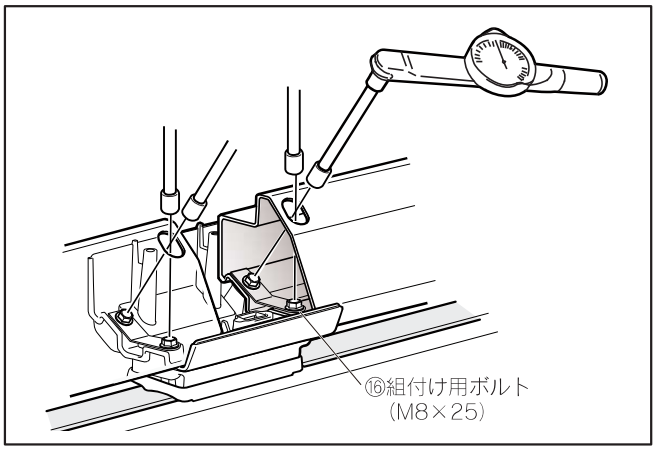
仮止めの際、クッションベースが脚部に確実にはまっている事を確認してください。
M8ボルトは再利用不可部品です。復元の際は新しいものを発注頂き使用するようにしてください。お守り頂けないと、ボルトのトルクが緩む恐れがあります。



5. 脚部の固定

(1) 仮止めしている脚部の⑮車両取り付けボルト（M8 × 49）を、（左図）❶～❻の手順で指定トルクにて完全に締め付け固定する。（6 ヶ所）

締め付けトルク　２４.０N ·m



6. サイドフレームの固定

(1) ①フロントサイドフレーム Assy と、③リヤサイドフレーム Assy を連結している ⑤センター脚の⑯組付け用ボルト（M8 × 25）を、指定トルクで完全に締め付け固定する。（4 ヶ所）

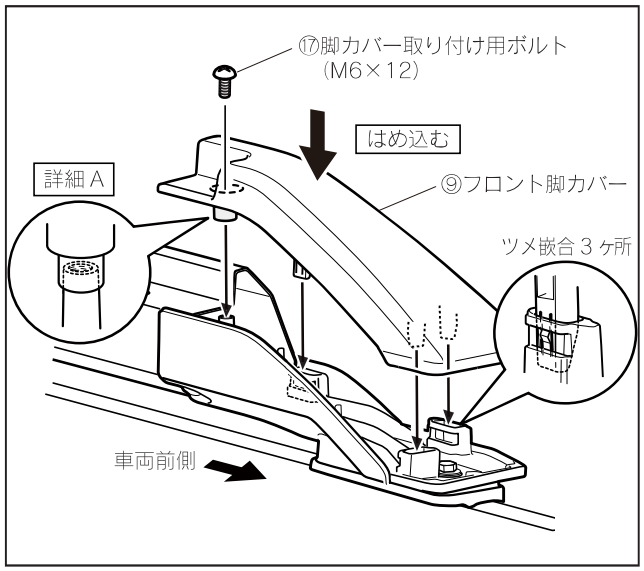
締め付けトルク　２２.０N ·m

アドバイス

締め付け作業の際は、長さ 100mm 以上のエクステンションバーをサイドフレーム上部の長穴部より差し込み、行ってください。

⚠ 警　告

締め付け完了後、再度ボルト締め付けを確認してください。
確実に固定されていないと部品が脱落し、後続車や人を事故に巻き込む恐れがあります。



7. フロント脚カバーの取り付け

(1) ⑨フロント脚カバーのボルト取り付け部とフロント脚のカバー取り付けボルト部を合わせ（詳細Ａ）、3ヶ所のツメと嵌合部を確認し、真上方向よりはめ込み固定する。

参考 締め付けトルク　3.0 N ·m ～ 5.0 N ·m

アドバイス

フロント脚カバーとリヤ脚カバーはサイズが異なります。部品裏面の識別記号を確認してください。

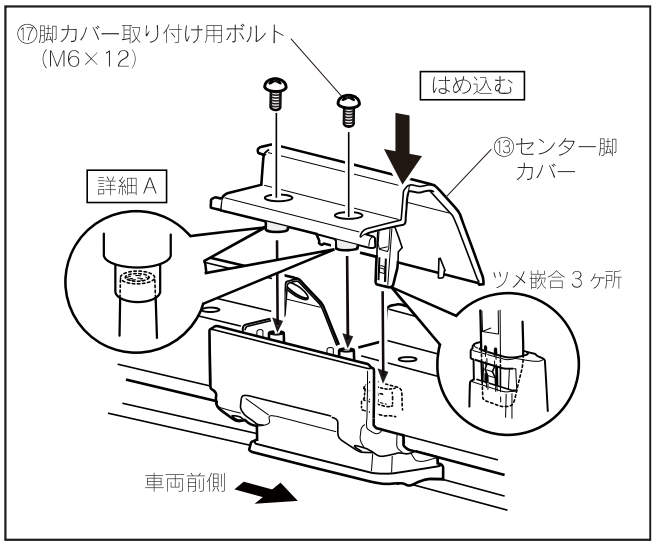
・前側：FR　・後側：RR ・右側：RH　・左側：LH

(2) ⑨フロント脚カバーと脚部に隙間や浮きズレ、ガタツキがないか確認する。

(3) ⑰脚カバー取り付け用ボルト（M6 × 12）を上面より締め付け固定する。

⚠ 注　意

⑰脚カバー取り付けボルト（M6 × 12）の締付けは電動工具等は使用せず、必ず手締めで行ってください。



8. センター脚カバーの取り付け

(1) ⑬センター脚カバーのボルト取り付け部と、⑤センター脚のカバー取り付けボルト部を2ヶ所合わせ（詳細 A）、3ヶ所のツメと嵌合部を確認し真上方向よりはめ込み固定する。

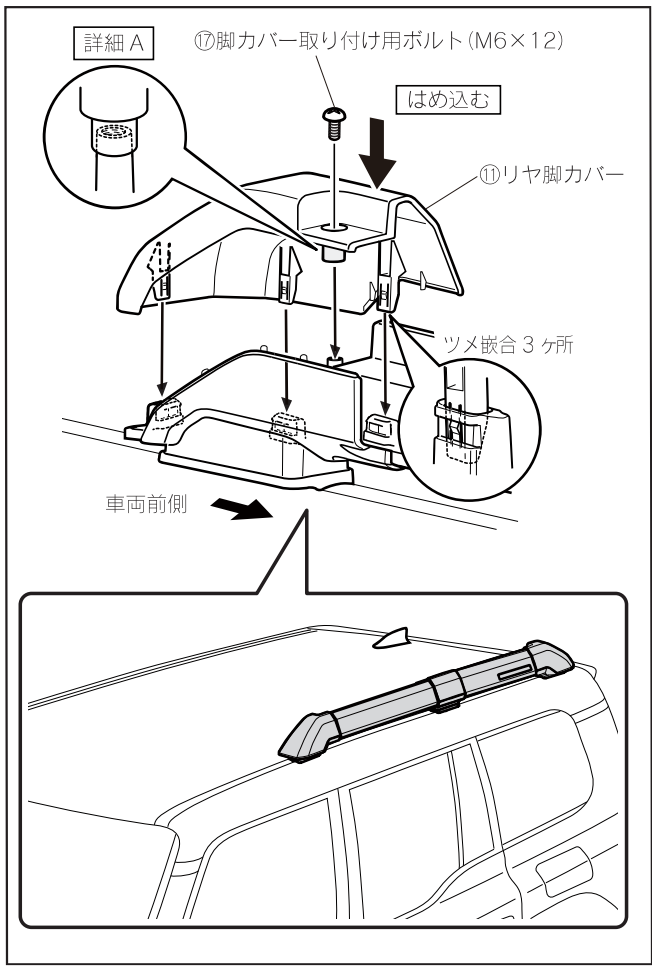
(2) ⑬センター脚カバーと脚部に隙間やズレ、ガタツキがないか確認する。

(3) ⑰脚カバー取り付け用ボルト（M6 × 12）を上面より締め付け固定する。

参考 締め付けトルク　3.0 N ·m ～ 5.0 N ·m

⚠ 注　意

⑰脚カバー取り付けボルト（M6 × 12）の締付けは電動工具等は使用せず、必ず手締めで行ってください。



9. リヤ脚カバーの取り付け

(1) ⑪リヤ脚カバーのボルト取り付け部と、リヤ脚のカバー取り付けボルト部を合わせ（詳細 A）、3 ヶ所のツメと嵌合部を確認し、真上方向よりはめ込み固定する。

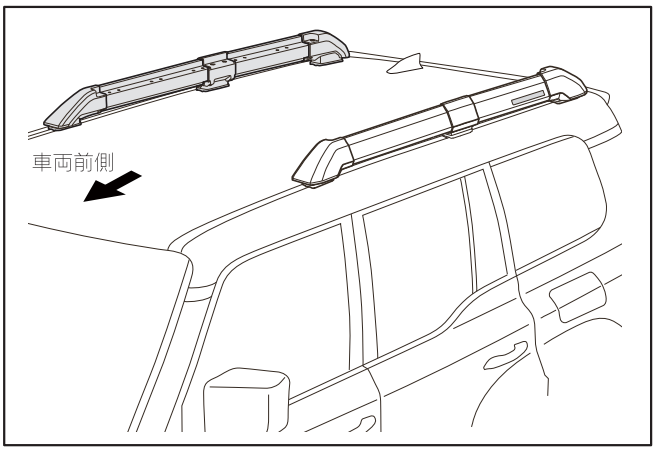
(2) ⑪リヤ脚カバーと脚部に隙間やズレ、ガタツキがないか確認する。

(3) ⑰脚カバー取り付け用ボルト（M6 × 12）を上より締め付け固定する。

参考 締め付けトルク　3.0 N ·m ～ 5.0 N ·m

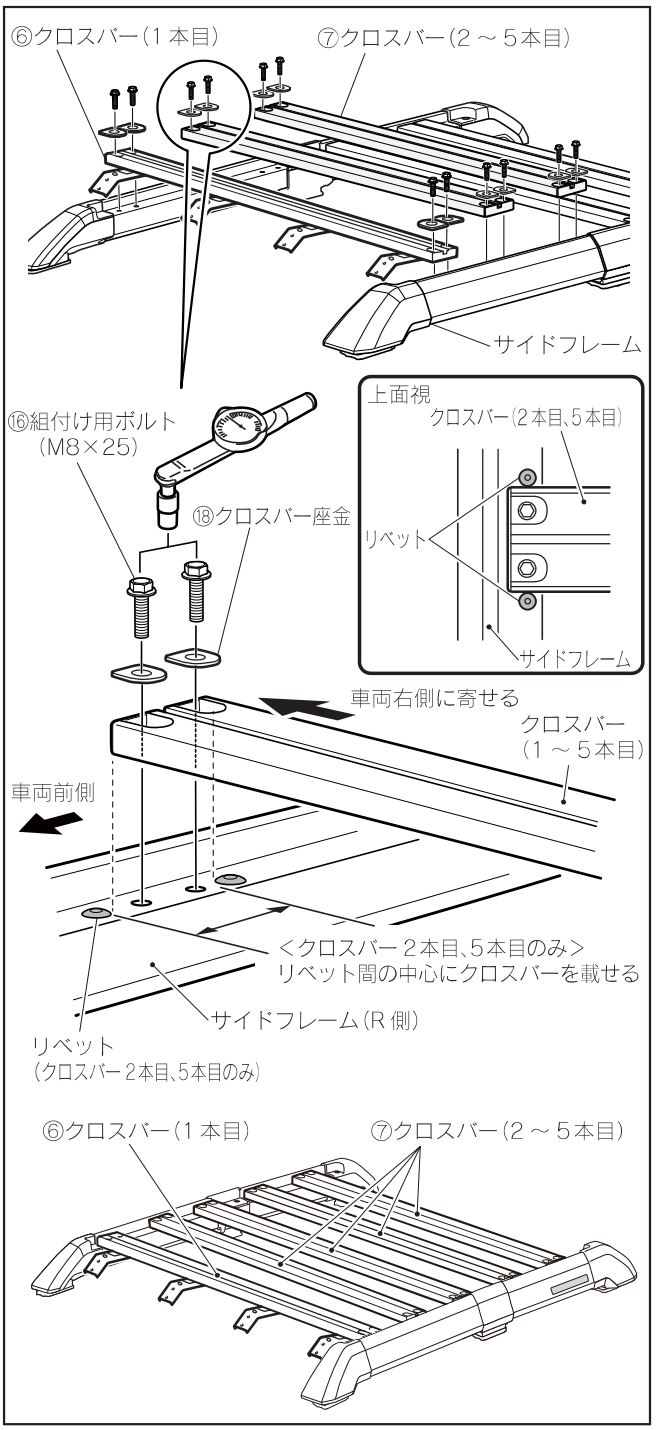
⚠ 注　意

⑰脚カバー取り付けボルト（M6 × 12）の締付けは電動工具等は使用せず、必ず手締めで行ってください。



10. R側サイドフレームの取り付け

(1) R側（運転席側）のサイドフレームもL側（助手席側と同様に車両ルーフに取り付ける。）



11. クロスバーの取り付け

(1) 車両に取り付けたサイドフレーム上面のナット部に⑥クロスバー（1本目）と⑦クロスバー（2～5本目）を配置し、その上に⑱クロスバー座金を載せる。

(2) ⑯組付け用ボルト（M8×25）で ⑥クロスバー（1本目）と ⑦クロスバー（2～5本目）と⑱クロスバー座金を仮止めする。(20 ヶ所)

(3) すべてのクロスバー（1～5本目）を仮止めしたら、前側から1枚づつ車両右側に寄せて指定トルクで締め付け固定する。(20 ヶ所)
(クロスバーと左サイドフレームの間にアタッチメント取付隙を確保するため)

締め付けトルク　２２.０Ｎ･m

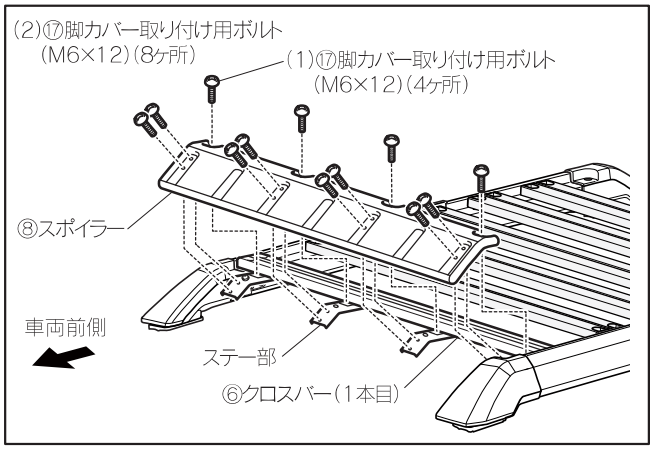
⚠ 警 告

締め付け完了後、再度ボルト締め付けを確認してください。
確実に固定されていないと部品が脱落し、後続車や人を事故に巻き込む恐れがあります。

アドバイス

クロスバーにアタッチメントを装着される際は、Web 記載の参考資料をご参照ください。

https://manual-accessories.toyota/CAWeb/index.html



12. スポイラーの取り付け

(1) ⑥クロスバー(1本目)のステーナット上部平面に、⑧スポイラーを⑰脚カバー取り付け用ボルト(M6 × 12)で固定する。(4ヶ所)

(2) ⑥クロスバー(1本目)のステーナット傾斜面に、⑰脚カバー取り付け用ボルト(M6 × 12)で固定する。(8ヶ所)

参考 締め付けトルク　3.0 N ·m ～ 5.0 N ·m

⚠ 警 告

締め付け完了後、再度ボルト締め付けを確認してください。
確実に固定されていないと部品が脱落し、後続車や人を事故に巻き込む恐れがあります。

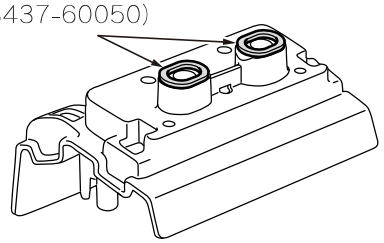
取り付け完了後の点検・注意事項

1.ボルト類の締め忘れがないか、脚カバー、スポイラー、クロスバーの取り付け状態を再確認してください。
2.ルーフラックを上下左右に揺すって、ラックのズレ、各部の緩み、ガタ、異音が無いことを確認してください。
3.上記項目で異常があった場合は、この「取付要領書」の内容を再確認し、確実に取り付けてからご使用ください。

取扱い上の注意事項

1.本製品の許容積載荷重は75kgです。過積載しますと本品の脱落、破損だけでなく、車両の変形、積載物の落下等の原因となりますので、過積載は絶対に行わないでください。
2.初期緩み等が発生する恐れがありますので、走行前に必ずこの取付要領書をご確認の上、各部のボルト類を増し締めしてください。またご使用中も定期的に各部品の脱落、振動による変形、緩み、ガタ等がないか確認してください。
3.積載物はラックに強い衝撃がかからないように静かに積載してください。
4.積載物が前後にずれないよう、ロープおよびベルト等で確実に固定してください。また、走行時も初期緩み等が発生する恐れがありますので、定期的に積載物が確実に固定されているか、またロープ等の固定具に緩みがないかを必ず確認してください。
5.本品装着後は、車両の全高が約130mm高くなります。
6.ラック装着および荷物積載時は、トンネルや立体駐車場等の高さ制限のある場所、また看板等の上部に建造物ある場所を走行することを考慮して、車両全高(積載物を含む)を確認しておいてください。
7.本品を取り付けたままの自動洗車機のご使用は、本品・車両・洗車機の破損、故障の原因となりますので、使用しないでください。
8.ルーフラックのルーフレール部を取りはずして復元/再取付の際は、再利用不可部品がございますので販売店にご相談ください。
9.ルーフラック再組み付けの際は、赤外線ランプなどを使用してルーフキャリアシール(左右各6ヶ所)を暖めて貼り付け/取りはずしをしてください。
両面テープが残った状態で、ルーフキャリアシールを取り付けると接着不良の原因となります。ドライバーなどで除去を行うと傷が付き、接着不良の原因となります。ドライバーなどで除去を行うと傷が付き接着不良の原因となります。

ルーフキャリアシール
(品番：63437-60050)



※ 積載物については制限が設けられています。最新の法令をご確認ください。